

科学倫理生徒研究発表会を行いました！

令和6年12月23日(月)に令和6年度科学倫理生徒研究発表会を行いました。2年次理系生徒が、それぞれ研究している自然科学のテーマに関連する科学倫理をテーマとした研究の発表です。テーマについて、賛成、反対などさまざまな視点で考え、ディベートを行いながら研究を進めてきました。

当日は、2年次理系生徒が発表し、1年次全生徒、2年次文系生徒が聴講しました。

＜参加した生徒の感想（一部抜粋）＞

- 1年の時と比べて緊張感が減り、原稿を見ず、自分の言葉で伝えることができたように思います。
- 最後に川勝先生が「この探究には答えがない」と言っていて、それは本当に難しいと思いました。だから実際ディベートを行っても「この点では賛成やけどこの点では反対」ということがすごく多かったです。賛成反対を決めた今回の探究では色々な面から見て考えることができる機会になったと感じました。
- 発表について事前の話し合いが足りなかったと感じました。時間がなかったのもありますが、意見がまとまりきっていないまま発表に臨んでしまったので、質問にうまく答えられませんでした。ただ、質問をいただく中で新たな発見があったり改善点が分かったりして、とても意味のある時間だったと思います。
- 他の人の発表の仕方を見て、間の取り方だったり視線の向け方だったりまだまだ足りないところや伸ばせるところが自分にはあるのだと気づいた。また、質問から新しい気づきもあり、いろんな着眼点があって興味深かった。
- 他の班の発表では、内容は勿論、発表の仕方も学んだ。原稿をつらつらと読むだけでなく、聞き手に語りかけるように話している人がすごく印象的で、聞き取りやすかった。
- 学年がひとつ違うだけで発表の質がこんなにも違うんだと驚きました。また、テーマを決める上での着眼点が面白いなと思いました。
- 質疑応答の時間では、質問の内容にも「確かにそういう考えもあるな」と考えさせられる場面もあって自分にとってためになる時間だった。

＜研究テーマ 例＞

- 原子力発電の是非
- 花火大会開催についての是非
- 野菜に農薬を使用することの是非
- スマートドラッグについて
- 食品を実験に使うことの是非

